

地 図
-----

## 1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

	発行者の番号及び略称	教科書名
2	東 書	新しい地図帳
46	帝 国	楽しく学ぶ 小学生の地図帳

## 2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

	観 点		視 点	方 法
(ア)	基礎・基本の定着	①	単元や活動の取扱い・説明の仕方の工夫	地図の見方の例
		②	我が国の国土と歴史に対する理解と愛情や国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を育てるための工夫	国土の地理的環境や歴史的事象及び国際理解に関する学習への活用に向けた記載の例
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	③	興味・関心を高めるための工夫	興味・関心を高めるための例
		④	課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫	作業的・体験的な学習課題の例
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑤	単元や資料等の配列	統計資料と地図の扱い
(エ)	内容の表現・表記	⑥	学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用	資料等の活用方法の例
(オ)	言語活動の充実	⑦	観察・調査や各種資料の活用の工夫	地図を活用した調べ方の例
		⑧	調べたことや考えたことを適切に表現する力を育成するための工夫	地図を活用した表現の例

【地図】

<b>観点</b>	<b>(ア) 基礎・基本の定着</b>
<b>視点</b>	①単元や活動の取扱い・説明の仕方の工夫
<b>方法</b>	地図の見方の例

	<b>地図の見方の例</b> 『 』は主題名, 「 」は項目名, [ ]は使用ページ数
<b>東書</b>	○ 読図に関しては、『地図帳の使い方』で、地図記号、索引、方位、縮尺について説明するとともに、具体的な活用の仕方を例示している。〔2〕
<b>帝国</b>	○ 読図に関しては、『地図って何だろう』と『地図のやくそく (1) (2) (3)』で方位、地図記号、距離と縮尺について説明し、その後、『地図帳の使い方 (1) (2)』で地図記号、土地の高さの表し方、索引、縮尺について説明するとともに、具体的な活用の仕方を例示している。〔12〕

<b>観点</b>	<b>(ア) 基礎・基本の定着</b>
<b>視点</b>	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情や国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を育てるための工夫
<b>方法</b>	国土の地理的環境や歴史的事象及び国際理解に関する学習への活用に向けた記載の例

	<b>国土の地理的環境や歴史的事象及び国際理解に関する学習への活用に向けた記載の例</b>
<b>東書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻末の『世界の国々』で世界の国々の国旗を、巻頭の『地図のぼうげんに出発！WORLD MAP』や世界の各地方図では、物産や建物・地域の特色を示すイラストや写真等を掲載している。</li> <li>○ 『日本とそのまわり』で、日本の国土と近隣諸国等の地理的環境を表記している。また、東西南北の端の島（択捉島、与那国島、南鳥島、沖ノ鳥島）の位置を示すとともに、同じ見開きページに写真入りで紹介している。さらに、尖閣諸島、竹島については、写真を掲載しているページへの案内を掲載している。</li> <li>○ 地方図の中に主要都市の拡大図を掲載している。</li> <li>○ 『日本の歴史－世界とのかかわり①②』で、年表、地図、イラストを用いて、各時代における国名や、日本と他国の関わりについて示し、年表とともに主な出来事について各地方図中の頁数も掲載している。</li> <li>○ 『日本の歴史と文化－日本の世界遺産－』の「むかしの国」で、明治元年当時の国名と昔の名前がついた特産物、歴史的名所や各地の祭り等の位置をイラストで示し、加えて、世界文化遺産や世界自然遺産の写真を掲載し、地図にその位置を掲載している。</li> <li>○ 各地方図には、歴史的事象・建造物等を地図上に青地に白抜きで文字で掲載している。</li> </ul>
<b>帝国</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭の『世界発見！』で民族衣装・あいさつの言葉、巻末の『世界の国々』で世界の国々の国旗を、世界の各地方図で、地域の国旗や特色を示すイラストや写真等を掲載している。</li> <li>○ 『日本の領土とそのまわり』で、日本の国土と近隣諸国等の地理的環境を表記している。また、東西南北の端の島（択捉島、与那国島、南鳥島、沖ノ鳥島）の位置を示すとともに、同じ見開きページに写真入りで紹介している。さらに、北方領土、竹島、尖閣諸島についても、同じ見開きページに写真入りで紹介している。</li> <li>○ 各地方図の中に主要都市の拡大図を掲載している。</li> <li>○ 『日本の歴史と世界文化遺産』で明治元年当時の国名、昔の国の名前がついた特産物、世界文化遺産の写真を掲載し、地図にその位置を掲載している。また、「1日本の歴史のおもなできごと」で、年表とともに主なできごとについて各地方図中の頁数も掲載している。</li> <li>○ 各地方図には、歴史的事象・建造物等を地図上に青地に白抜きで文字で掲載している。</li> <li>○ 「広く見わたす地図」を掲載し、地理的環境を示している。</li> </ul>

【地図】

<b>観点</b>	<b>(イ) 主体的に学習に取り組む工夫</b>
<b>視点</b>	③興味・関心を高めるための工夫
<b>方法</b>	興味・関心を高めるための例

興味・関心を高めるための例	
<b>東 書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全般にわたって、キャラクターの吹き出しで、地図活用の手がかりやその土地の様子等を紹介している。</li> <li>○ 巻頭の『地図のぼうげんに出発！WORLD MAP』『発見！わたしたちの日本！JAPAN MAP』で、世界や日本の様々な事物をイラストで紹介している。</li> <li>○ 地図学習の導入として、『まちを上からながめてみよう』『真上から見ると地図になるよ』『市を見わたしてみよう』でイラストマップや地図を用いて地図の仕組みを紹介している。</li> <li>○ 『くらべてみよう日本と世界』で、世界各地の有名な山、川、建造物等をイラストで紹介している。</li> <li>○ 近畿地方図に「金閣」「銀閣」「東大寺の大仏」の写真を、中部地方図に「自動車工場と関連工場の分布」を掲載するなど、地域の特徴的な内容を紹介している。</li> <li>○ 『日本の歴史と文化－日本の世界遺産－』で、昔の国名がついている食べ物や祭りなどをイラストで、世界文化遺産を写真で紹介している。</li> <li>○ 『世界のおもな国の統計』で、オリンピックとワールドカップの開催国を地図上に色分けして示している。</li> <li>○ 『世界の地方図』の中には、料理や動物など、特徴的なものを写真で紹介している。</li> </ul>
<b>帝 国</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全般にわたって、キャラクターの吹き出しや地図マスターで、地図活用のポイントやその土地の様子等を紹介している。</li> <li>○ 巻頭の『世界発見！』のイラストマップに、世界各地の名所や食事等をイラストで示すとともに「世界の国からこんにちは！」で、イラストを用いて世界のあいさつを紹介している。</li> <li>○ 地図学習の導入として、『地図のやくそく』の中に、イラストマップを用いた「たからさがしにちょうせんしよう」を掲載している。</li> <li>○ 各地方図で、広島市の原爆被害状況、札幌市中心部の雪の多い都市の工夫等、各地域の特徴的な内容を紹介している。</li> <li>○ 世界の各地方図の「集まれ！世界の子どもたち」で、各地域の特徴的な生活について写真で紹介している。</li> <li>○ 『日本の歴史と世界文化遺産』で、昔の国名がついている主な産物をイラストで、世界文化遺産を写真で紹介している。</li> <li>○ 『日本と世界の結びつき』の④オリンピック・パラリンピックでオリンピック・パラリンピックの開催国を地図上に示している。</li> </ul>

【地図】

<b>観点</b>	<b>(イ) 主体的に学習に取り組む工夫</b>
<b>視点</b>	④課題の設定, 整理・分析, 振り返りを展開するための構成上の工夫
<b>方法</b>	作業的・体験的な学習課題の例

作業的・体験的な学習課題の例	
<b>東 書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全般にわたってキャラクターの吹き出しで、「中国地方を東西に走る高速道路を指でたどって、どんな都市を通っているか確かめてみよう。」等、作業的な学習を例示している。</li> <li>○ 『世界全図と地球儀』の「地球儀を使って調べる」で、紙テープやトレーシングペーパーを使って、方位や国の大きさを調べる方法を写真入りで掲載している。</li> </ul>
<b>帝 国</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全般にわたって「地図マスターへの道」で、「新幹線で大阪市から福岡市まで行く間に通る府県はどこか、線路を指でたどりながら、府県の名前を言う」等、作業的な学習を例示している。</li> <li>○ 『日本の自然災害と防災(2)』では、防災マップの例を示しながら防災マップづくりの手順を示し、体験的な学習を例示している。</li> <li>○ 『世界と地球儀』の「地球儀を使おう」で、紙テープを使って、距離や方位を調べる方法やトレーシングペーパーで土地の面積や形を調べる方法を写真入りで掲載している。</li> </ul>

<b>観点</b>	<b>(ウ) 内容の構成・配列・分量</b>
<b>視点</b>	⑤単元や資料等の配列
<b>方法</b>	統計資料と地図の扱い

統計資料と地図の扱い	
<b>東 書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日本列島全体を見渡す地図に始まり、日本の地方図と都市圏図、世界全図、世界の各地方図、主題図、統計資料、索引と系統的に配列している。</li> <li>○ 各地域を比較できるように、日本全図は縮尺 400 万分の 1、各地方図は原則として 100 万分の 1（北海道は 160 万分の 1）、都市圏などの拡大図は 5 万分の 1 で統一されている。</li> <li>○ 陸の高さや海の深さが、地図に応じて細かく色分けされており（最大 17 段階）、土地利用も商業地、住宅地などを 8 種類で示している。</li> </ul>
<b>帝 国</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日本の地方ごとに広く見渡す地図に始まり、日本の地方図と都市圏図、世界全図、世界の各地方図、主題図、統計資料、索引と系統的に配列している。</li> <li>○ 各地域を比較できるように、各地方図は原則として 100 万分の 1（北海道は 160 万分の 1）、都市圏などの拡大図は 5 万分の 1 で統一されている。</li> <li>○ 日本列島や地方図では、隣接地域の地図が何ページにあるかを記号で表示し、隣の地図とのつながりを示している。</li> <li>○ 陸の高さや海の深さが、地図に応じて細かく色分けされており（最大 13 段階）、土地利用も商業地、住宅地などを 8 種類で示している。</li> </ul>

【地図】

<b>観点</b>	<b>(エ) 内容の表現・表記</b>
<b>視点</b>	⑥学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用
<b>方法</b>	資料等の活用方法の例

資料等の活用方法の例	
<b>東書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 『地図帳の使い方』で、地図記号、この地図帳での記号、方位の見方、縮尺の見方、土地利用の見方、土地の高さの見方、索引の使い方、広く見る時、詳しく見る時、地方別に見る時の見方について、イラストを使って説明している。</li> <li>○ 「Dマーク」を掲載し、Webページ上で資料等の活用方法等を紹介している。</li> <li>○ これまでの学習で調べた項目が記録できるように、索引の項目ごとにチェック欄が設けられている。(掲載数：日本の地名 約 2200 項目，世界の地名 約 470 項目)</li> </ul>
<b>帝国</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 『地図のやくそく (1) (2)』で、地図記号、この地図での記号、方位の見方、縮尺の見方、土地利用の見方、土地の高さの見方、索引の使い方、目的にあわせた見方等について、イラストを使ったり、ワークシート形式で記入したりして説明している。</li> <li>○ 二次元コードを掲載し、Webページ上で資料等の活用方法等を紹介している。</li> <li>○ 「さくいんの見かた」で、地名の種類を表す記号・色、列記号と行記号による場所の探し方を示している。(掲載数：日本の地名 約 2100 項目，世界の地名 約 400 項目)</li> </ul>

<b>観点</b>	<b>(オ) 言語活動の充実</b>
<b>視点</b>	⑦観察・調査や各種資料の活用の工夫
<b>方法</b>	地図を活用した調べ方の例

地図を活用した調べ方の例	
<b>東書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 『地図帳の使い方』の「どこにある？ (さくいん)」で、索引の使い方をまんがで説明し、地名の調べ方を例示している。</li> <li>○ 全般にわたって、キャラクターの吹き出しで、具体的な観察・調査方法を掲載している。</li> <li>○ 「資料地図、統計表」で、ページの上段の言葉やキャラクターの吹き出しで、調べる視点等を示している。</li> </ul>
<b>帝国</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 『地図帳の使い方 (2)』で、索引の使い方をキャラクターの吹き出しで説明し、地名の調べ方を例示している。</li> <li>○ 全般にわたって、キャラクターの吹き出しで、具体的な観察・調査方法を掲載している。</li> <li>○ 全般にわたって、「地図マスターへの道」で、学び方や調べ方等の簡単な作業を指示し、資料活用の仕方を示している。</li> </ul>

<b>観点</b>	<b>(オ) 言語活動の充実</b>
<b>視点</b>	⑧調べたことや考えたことを適切に表現する力を育成するための工夫
<b>方法</b>	地図を活用した表現の例

地図を活用した表現の例	
<b>東書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 『日本の自然災害』において、ハザードマップを示し、自分の地域のハザードマップで確認する点について掲載している。</li> <li>○ 日本の自然、産業、貿易、歴史、歴史と文化について主題図で示している。</li> </ul>
<b>帝国</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 『日本の自然災害と防災』において、「防災マップづくり」で地図を使ったまとめ方のヒントや手順を示し、地図の作品の例を掲載している。</li> <li>○ 日本の自然のようす、日本の自然災害と防災、日本の産業のようす、日本と世界の結びつき、日本の歴史と世界文化遺産について主題図で示している。</li> </ul>